2016/01/09

agartha works インディボディ　エアロキット作製方法
ＴＹＰＥ　Ｃ

Copyright(C) agartha works 2016

■フロントウイング作製

１．必要部品（写真左から）

・京商　プラズマフォーミュラ用フロントウイングベース（PZ126B）

・エアロキット付属のフロントウイングパーツ（写真はキット標準の部品で、エアロキットの部品と細部の形状は異なります）

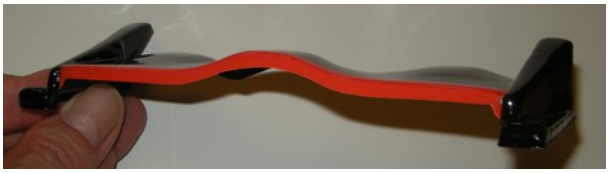
・2mm 厚のカイダック板等を使って作ったウイングマウント（写真右側の黒い板状の部品）。templateaerokit の「No.1 Front wing mount」の形状に切り出して下さい。前側の穴は裏面に皿穴加工が必要です。

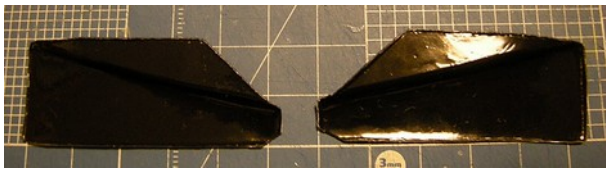
・3mm 径×15mm 長程度のビス、厚み 2mm のスペーサー、3mm のロックナット2個、O リング 1 個

・4mm 径×20mm 長程度の皿ビス、4mm のロックナット

２．フロントウイングパーツのカット

ウイング本体、翼端板（ウイング左右端の垂直板）をカットラインに沿ってカットして下さい。後部のカット形状は写真を参考にして下さい。





３．ウイングの組み立て

2で準備した翼端板を接着剤（コニシのS・Uやセメダインのスーパー X）、または薄手の両面テープ（ニトムズの超強力両面テープ PE・PP 用 No.5015）を使って、写真のようにウイングの両端に取り付けます。クラッシュ時のことを考えると、接着剤がベターです。

４．フロントウイングベースの加工

上記のウイングベースでは前後方向の長さが足りませんので、1で用意したウイングマウントを使って、ネジ穴1つ分前に出します。

下写真のウイングベースの右端の部分（根元側）の上部を良く切れるカッター等で 2mm カットし厚みを減らします。薄くしすぎると取り付けた時にウイングがグラつきますので、注意して下さい。

５．ウイングマウントの取り付け

フロントウイングベースとウイングマウントを4mmビスとナットを使って写真のように固定します。根元側のネジ穴がずれないように注意して下さい。

写真では、ウイングマウントの前側のネジ穴には裏面に皿加工が施してあることが分かります。皿加工用ドリルが無い場合は、カッター等で適当にテーパーを付けても良いでしょう。

６．ウイングベース横幅のカット

カッター等を使って、左右から 18mm ずつカットして下さい。全幅は 120mm になります。

７．3mm ビスの取り付け

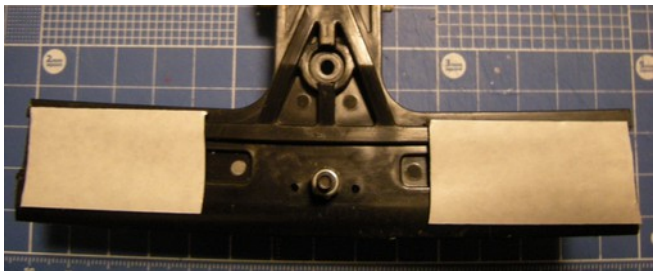
ウイングベースに空いた穴に、3mm×15mm のビスを裏側から通し、2mm 厚スペーサーを挟んで 3mm ロックナットで固定し、その上に O リングを入れます。

８．ウイングの固定

フロントウイングパーツの穴あけマーキングが付いている部分に 3mm の穴を開けて、7 で取り付けたネジに通し、ロックナットで固定します。O リングをつぶし過ぎないように注意して下さい。

中央部だけの固定で若干不安があるので、ウイングパーツの左右端の裏面にスポンジタイプの両面テープを付けて、ウイングベースに貼り付ければベストでしょう。

写真では全面に貼り付けていますが、前側だけで十分です。



以上でフロントウイングの完成です。

■リアウイング作製

１．必要部品（写真左から）

・ヨコモ　YRF　Formula 001 用リアウイング／リアウイングベース（YF-RM）

・2mm 径 6mm 長程度のビス、ナット

・エアロキット付属のリアウイングパーツ（写真はキット標準の部品で、エアロキットの部品と形状は異なります）

２．リアウイングパーツのカット

カットラインに沿ってカットして下さい。

ホイールガード前側部品（右写真の下の2つの部品）は、左右が分かりにくいですが、角が若干角ばっている方が内側になりますので、ホイールガード後側部品との組み合わせに注意して下さい。

３．翼端板の作製

翼端板（ウイング左右端の垂直板）は、templateaerokit の「No.8 Type C Rear Winglet」を使って、0.8mm または 0.5mm 厚のポリカ板から切り出して下さい（パーツの切れ端でも可）。

４．リアウイングの加工

templateaerokit の「No.2 Rear Wing cut template」をシール用紙等に印刷し、形状に合わせてリアウイングに貼り付け、良く切れるカッター等でカッティングラインに沿って切り出します。

次の写真のように、ウイング面は平面部分のみ残す感じで切り取って下さい。幅は前から 16mm 幅程度です。かなり硬いので、安全に注意して作業を行って下さい。

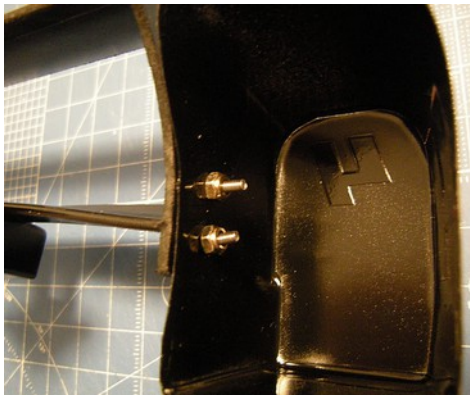
ネジ穴部分は、2mm の穴を開けて下さい。

＜加工前＞

＜加工後＞

５．ホイールガード部品のウイングへの取り付け

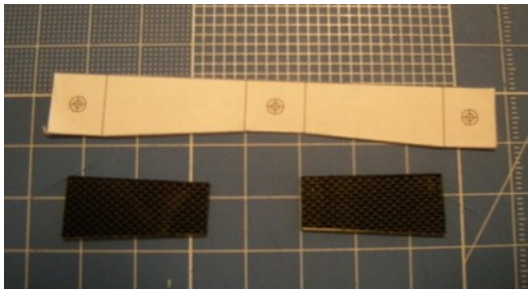
ホイールガード後側部品のネジ穴用のマーキング位置に2mm径の穴を開け、2mmネジ、ナットを使って固定します。ナットを締める際には、ネジロック剤を塗ると安心です。



６．ウイングステーの作製

これは無くても機能的に何の問題もありません。見た目を特に気にする方向けです。

templateaerokitの「No.3 Rear Wing Stay」を使って、大きい方のパーツ（写真上側）を0.5mm厚のポリカ板から、小さい方のパーツ2個（写真下側）を1mm厚のポリカ板から切り出します。

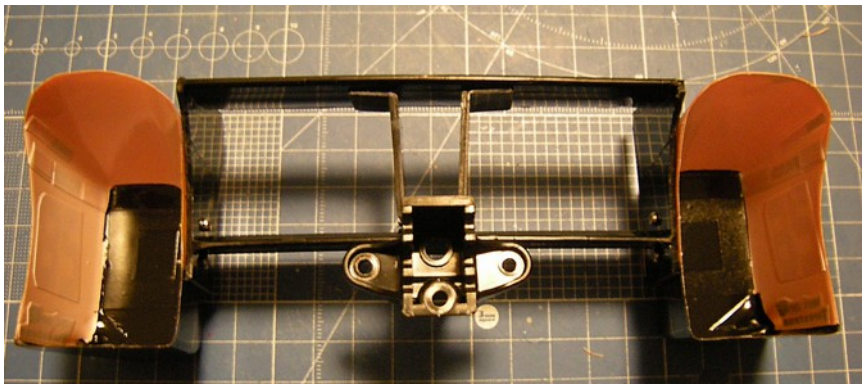


金属製の定規等をあてがい、大きい方のパーツを折れ線に沿って、右写真のように折り曲げます。折れ線にカッターでスジを入れるとポリカ板は簡単に割れますので、スジ無しで折り曲げて下さい。1mm厚のポリカ板で作ったパーツは、薄手の両面テープ等でステー部の左右からくっ付けます。

完成形は次ページの写真を見て下さい（写真はTYPE　Hですので細部は異なります）。

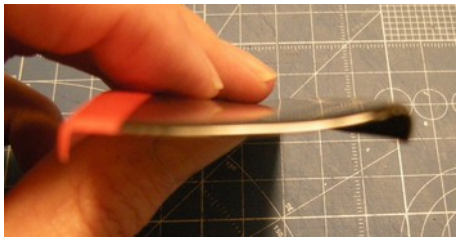
ウイングへの固定は小径ネジ、ナットによる、ネジ止

めがベストです。
　透明ポリカ板の断面が気になる場合は、黒のマーカー等で塗って下さい。



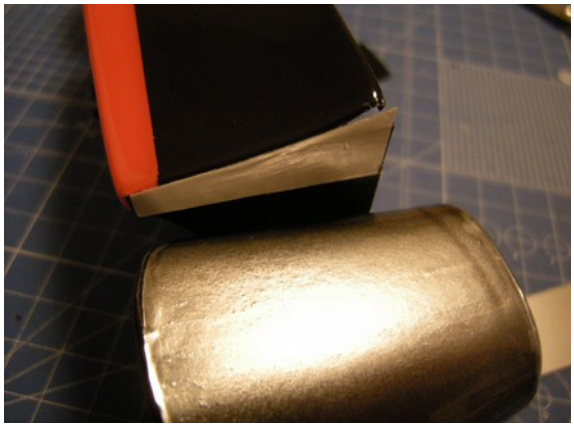
７．ウイング面の取り付け

　カットラインに従って切り出したウイング面（平面部分）のサイドを次写真のようにカットします。
　ウィングへの固定は、スポンジタイプの両面テープで貼り付けた後に、できれば小径のビスで固定して下さい。



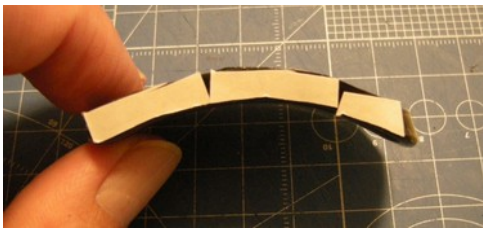
８．翼端板の取り付け

　3で準備した翼端板を薄手の両面テープ等を使ってウイング横に接着します。



９．ホイールガード前側部品の取り付け

2で切り出したホイールガード前側部品の側面に薄手の両面テープ等を貼り、ホイールガード後側部品に取り付けます。S・Uやスーパー X等の強力接着剤を使っても良いですが、分解できなくなります。



以上でリアウイング完成です。

ウイングの取り付け高さを調整できるモーターマウントを使用している方は、実車の写真を参考にして調整して下さい。

■完成写真

■参考写真（リアホイールガードカット形状）

****
更新履歴
2016/01/09　初版作成